

オープンキャンパス課外活動部門（県立大学フェスタ2010）

7月18日（日）、本学にてオープンキャンパスが開催され、そのプログラムのひとつとして、課外活動部門（県立大学フェスタ2010）が行われました。課外活動部門は、ステージ発表、展示・体験コーナーなどのプログラムを通して、学生の自主活動やサークル活動を広く知っていただくために、昨年からオープンキャンパスと同時に開催しています。

食堂前の広場では、音楽系サークルなどのステージ発表が行われました。天気に恵まれ、暑い日差しの中、吹奏楽団BLAZEの演奏でステージが始まりました。楽しそうなステージの雰囲気と賑やかな音で、ステージ前には次第に大勢の人が集まり賑わいました。ダンスサークルColorfulのステージは、「かっこいい！」と訪れた高校生に大人気でした。

また、学内各所でパネル展示などによるさまざまな自主活動の紹介が行われました。食堂のNIJI☆HONG☆MUJIGEのブースでは、韓国語・中国語での名刺作りコーナーが人気でした。そのほかにもお弁当の日やエコアクション21学生委員会の活動紹介などに高校生たちが見入っていました。

第1デザイン実習室では、SCC（芸術サークル）や写真サークル～彩～の作品展示が行われ、作品を通して訪れた人たちとの会話が弾んでいました。4号館前には2人乗り自転車タンデムの試乗ができる体験コーナー、桜翔館ではピアサポートによる相談コーナーが開催されました。各会場で大学生と訪れた人の距離も縮まったようでした。

今年度のオープンキャンパスには、高校生と保護者の方を中心とした約1000名の方が訪れ、たいへん盛況となりました。オープンキャンパスを通して、普段見ることができない学生の自主活動を、より多くの人に知っていただくことができました。



サムルノリサークルによる韓国打楽器演奏。珍しい楽器と音色が、来場者を楽しませていました。



奄美連合萩組による演舞。暑い中、最後まで笑顔で絶えず楽しく踊り、会場を盛り上げました。



ダンスサークル Colorful。かっこいいダンスが来場者に大人気でした。



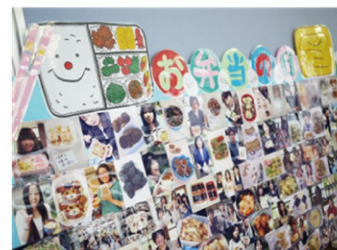
ステージ前のウッドデッキの様子。大勢の方が足を止め、学生たちの発表を観てくださいました。



学内の各所で、パネルなどによる学生たちの活動紹介が行われました。



さまざまな活動紹介を通じて本学でのキャンパスライフのイメージをより伝えることができたようでした。



お弁当の日の活動紹介。色とりどりの美味しそうなお弁当の写真が並んでいました。



NIJI☆HONG☆MUJIGEによる中国語・韓国語での名刺作りが人気を集めていました。



桜翔館では、ピアサポートや大学職員による相談コーナーが開催され、たくさんの方が訪れました。



第1デザイン実習室では SCC（芸術サークル）と写真サークル～彩～の作品展示が行われました。



作品を通じてコミュニケーションが生まれ、学生たちにとって貴重な体験となったようでした。



2人乗り自転車タンデムの試乗コーナー。おそろいのTシャツで来場者を迎えました。

学生スタッフ制度

大学運営業務に学生が有償のスタッフとして参画することでミニ社会体験をし、人間関係力を向上させることを目的とした活動です。前期は多くの学生が、学生スタッフとして活動しました。



社会福祉学部 社会福祉学科1年
山本 佳奈
(オープンキャンパス運営補助)

朝の駐車場誘導はきつくて、首が真っ黒になりました。でも、中には「お疲れさま」と声をかけてくださった方もいて、すごく嬉しかったです。頑張るエネルギーがわいてきました。講堂前受付では、わくわくした高校生の顔を見ると、とても懐かしくなりました。出席をとって資料を渡すという本当に短いコミュニケーションでしたが、これからの出会いを期待させるようなこの時間は、とても楽しかったです。

アンケート集計は、なかなか地道で大変な作業でしたが、オープンキャンパスに来た人の意見を聞くことはなかなかないので、とても貴重な体験ができました。

～平成22年度前期の学生スタッフ活動～

- ・入学式運営補助（4月）
- ・地域学開講記念講演開催補助（4月）
- ・日本語チューター及び生活支援者（4月～7月）
- ・第1回学内合同就職ガイダンス（5月）
- ・ミニオープンキャンパス運営補助（6月）
- ・オープンキャンパス運営補助（7月）
- ・図書館司書業務（8月）
- ・教員免許状更新講習（8月）
- ・大学広報用のビデオ撮影補助（6月～9月）など

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2010

YPUドリームアドベンチャープロジェクトとは、大学生活をさらに楽しく豊かにするために、学生（個人やグループ）が自主的に企画・運営する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助することで夢の実現を支援する事業です。

平成18年度から始まった取組も5年目を迎えました。毎年、学生たちの新しい発想によるさまざまなプロジェクトが、大学を活気づけています。

今年度は6件のプロジェクトが採択され、現在活動中です。来年1月には成果報告会を行います。



YPUドリームアドベンチャープロジェクト2009報告書は、学生生活支援センターで閲覧することができます。



～平成22年度採択プロジェクト（全6件）～

- 《A部門》（10万円以下／採択数：3件）
- ・県大留学生新聞『パンダの足跡』の発行
 - ・YPU TFT PROJECT～play with smiles～
 - ・おいしいたけプロジェクト～新キャンパスに憩いの場を～
- 《B部門》（30万円以下／採択数：3件）
- ・Kids' English
 - ・Hong☆무지개～虹～
 - ・YPU SWEETS PROJECT

インターンシップ制度

正課インターンシップ以外にも課外インターンシップを奨励しています。学外関連団体とセンターが連携することにより、多くの学生に対して実社会で実践的なトレーニングを行う場を提供するのが目的です。平成22年度前期は、22名の学生がインターンシップを行いました。10月1日には成果報告会が開催されます。

～平成22年度前期のインターンシップ生～

- ・共通教育科目「インターンシップ」受講生 9名
 - ・課外インターンシップ生 13名（学生生活支援センター経由でのインターンシップ）
- (合計22名)

